

八戸版

小学生(上学年)

防
災
ト

未来につながる

～ 自分の **命** は、
自分で守る～

八戸市教育委員会



小学生のみなさんへ

八戸市は、海と山に囲まれた自然豊かな土地です。美しい景色、おいしい水、豊かな水産資源、森林資源、農産物など、自然は私たちに様々な恵みを与えてくれます。そして、この恵みをもとに、八戸の人々はまちを発展させてきました。しかし、時折、自然災害が大きな被害をもたらすこともあります。

平成23年(2011年)3月11日に起きた東日本大震災では、地震や津波におそわれて、たくさんの方が亡くなりました。



避難訓練の様子



種差海岸 (葦毛崎展望台付近)

八戸市も、大きなゆれと津波におそわれましたが、児童の皆さんは素早く避難したので、全員が無事に命を守ることができました。このように、いざという時、自分の命を守る方法を身につけておくことが大切です。

この防災ノートは、災害が起きた時に、みなさんが自分で正しく判断し、そして行動することで、「命を守る」ことができるように、作成されました。ぜひ、学校や家庭で活用しましょう。

保護者の皆様へ

平成23年の東日本大震災では、これまでの想定をはるかに超える大地震、大津波が発生し、八戸市も大きな被害を受けました。その時、多くの子どもたちは学校にいましたが、先生方の指示のもと素早く避難し、当市では子どもの命が失われることはありませんでした。しかし、東北地方では、多くの尊い命が失われ、中にはわずかな判断の差が生死を分けた例もありました。

この先、地震や津波だけでなく、台風や大雨、土砂災害などの自然災害は、いつ発生するか分かりません。東日本大震災の記憶を風化させることなく、そうした自然災害から子ども自身が「自分の命は自分で守る」ために、子どもたちの防災意識を高め、災害対策に取り組むことが必要です。そして、子どもたちだけではなく、家族を含めた大人たちの防災意識を高めていくことも必要だと考えます。この防災ノートは主に学校で使用しますが、保護者の皆様にも一緒に考えていただくために「家族会議」の欄を設けてあります。お子様と一緒に、この防災ノートを読んだり避難場所を確認したりして、ご家庭でも防災について考えてくださるようお願いいたします。

も く じ

- 1 学校で大地震が起こったら・・・ 4年 5年 6年 3
- 2 家にいるときに、大地震が起こったら・・・ 4年 6年 家族会議 . . 5
- 3 登下校中に、大地震が起こったら・・・ 4年 5年 6年 家族会議 . 7
- 4 外出中に、大地震が起こったら・・・ 5年 6年 家族会議 9
- 5 家で危険を感じたときは、避難しよう 5年 家族会議 11
- 6 避難所に行かなければならなくなったら・・・ 5年 12
- 7 他の災害からも身を守ろう 4年 5年 6年 家族会議
「台風」 「大雨・豪雨」 13
「土砂災害」 15
「雷」 「大雪」 16
- 8 地震や気象の情報を知っておこう 4年 5年 6年 17
- 9 東日本大震災について知ろう 4年 5年 6年 18
- 避難訓練のふり返し 4年 5年 6年 裏表紙

1 学校で大地震が起こったら…

気をつけること

お 落ちてくるもの
う 動いてくるもの
た たお 倒れてくるもの

から

頭

体

を守ろう！

4

5

6

家族

教室にいる時は 机の下にかくれる（机の^{あし}脚をしっかりとつかむ）

特別教室にいるとき

- 1 理科室で大地震にあったとき、気を付けるところを○で囲みましょう。

囲んだら、友だちと見せ合って、話し合ってみましょう。



- 2 家庭科室で大地震にあったとき、気を付けるところを○で囲みましょう。



地震のゆれがおさまったら…

地震のゆれなどがいったん落ち着いた後、その場にしていると危険がある場合（建物が崩れるおそれや津波が来るおそれなど）は、安全な別の場所に避難します。

避難する時には、避難の約束「**お**さない」「**は**しらない」「**し**ゃべらない」「**も**どらない」（**おはしも**）を守りましょう。また、避難場所までどこを歩いていけばよいのか（通ってはいけないのか）を考え、身を守りながら避難することも大切です。

自分の身を守れるのならば、**火**の始末もしましょう。

火が発生したら…

火事から避難するときには、どんなことに気を付ければよいでしょうか？

火事で一番怖いのは煙です！

- 火事の煙の中を逃げるときの姿勢は？



- 煙を吸わないようにするには？



- 服装や持ち物にこだわらず、急いで避難しましょう。
- 火元の部屋の窓やドアを閉めて火災の拡大を防ぎましょう。
- 上の階は煙のたまり場になり危険です。階段で下の階へ避難しましょう。
- ※ 火の近くを通らなければいけないときは、ぬれタオルなどで身を守りましょう。

高学年として できること



高学年のみなさんは、災害が起きてしまったときに、学校のリーダーとして何ができるでしょうか。

例えば・・・

- ◆ 周りの人たちに、放送などをしっかり聞くように呼びかける。
- ◆ 下級生を集合場所まで、手をつないで連れて行く。
- ◆ 地域のみなさんのお手伝い（避難するときや避難場所）をする。

※ 他にも、自分たちで考えてみましょう。

ただし、自分の命を守ることが最も大切です。

2 家にいるときに、大地震が起こったら…

1 家の中の危険から身を守ろう

家にいるときに地震が起きたら、どんな危険があるでしょうか？

気をつけること

お 落ちてくるもの

う 動いてくるもの

た ^{たお}倒れてくるもの

4

5

6

家族

	予想される危険は？	どうやって身を守る？
部屋	 <p>例) タンスが^{たお}倒れる。</p>	<p>ベッドの下にもぐる。</p>
台所		
風呂		
その他 (廊下・玄関・階段等)		



家族会議

◆ 家で大きな地震が起きたとき ◆

「予想される危険」と「身の守り方」について、家族で話し合って上の表に書き足しましょう。

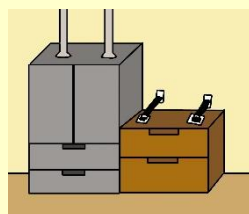
家の人のサイン



安全にする工夫はしていますか？ (例)

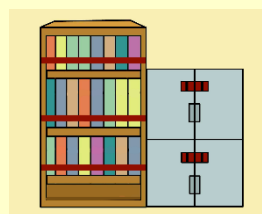
① 転倒防止

つかえ棒 (金具・ベルト)



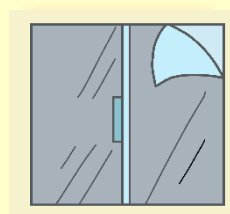
② 飛び出し防止

扉に金具をつける
本棚にひもをつける



③ その他

ガラスにフィルム



2

ゆれがおさまったら、すぐに行動しよう

ゆれがおさまったら、まず **安全確認**。その次に、状況によって **避難** をしましょう。

安全確認には急いで確認すべきことと、落ち着いてから確認することがあります。急ぐべきことには◎、落ち着いてから確認することには○を【 】に書きましょう。

【 】 出入り口を確保する。

➡ 戸が閉まらないように、物ははさんでおくといいです。

【 】 余震に備えて、危険物を安全なところへ移す。

危険物とはどんなものがあるかな？



【 】 家にいる人がみんな無事か確かめる。

➡ 大声で呼び合ったり、安全な場所に集合したりするといいね。

【 】 火の元を確認する。

火の元とはどんなものがあるかな？



【 】 消火器やバケツの用意

消火器のあるところは？



※消火器の使い方も確認しておこう。

【 】 ラジオやテレビなどで、地震の情報を確認する。



P 9 へ

津波がきそうな場所では急いで高い場所へ避難しよう。

【 】 電気器具のコンセントをぬく。

とくに、どんな電気器具のコンセントをぬけばいいかな？



【 】 ガスの元栓、プロパンガスボンベのバルブを閉める。

ガスボンベのあるところは？





家族会議

家の人のサイン

◆ ゆれがおさまったら ◆

ゆれがおさまった後の行動で「気を付けること」や「家族での約束」を話し合いましょう。



メモ

大地震から学ぶ

阪神・淡路大震災（平成7年1月17日発生）では、亡くなった原因の約80%が「倒れたものの下じきとなったこと」でした。また、暖房器具等の電源を「OFF」にしていなかったため、電気が復旧することで火事につながったケースも多かったです。一方、東日本大震災（平成23年3月11日発生）では、たくさんの尊い命が「津波」によって失われました。

「地震＝津波」ということを忘れず、海や川のそばにいたときに地震が起きたら、すぐに高いところへ避難しましょう。

4

5

6

家族

3 登下校中に、 大地震が起こったら…

通学路の危険な場所って、どんなところ？

あなたを守るための キーワード

4

お 落ちてくるもの
(例) 電柱についている機械
かんぱん

5

う 動いてくるもの
(例) 自動車

た たお 倒れてくるもの
(例) ブロックベい
自動はんぱい機

6

大地震があったとき、気を付けるところを○で囲みましょう。



どうやって自分の身を守ったらよいか、話し合ってみましょう。
 (例)「頭を守る」「はなれる」「何かのかげにかくれる」など

自分の通学路で、危険な場所を見つけよう

登下校中に大きな地震があったとき、気を付けるところはどこでしょうか？
そして、どのようにして自分の身を守ったらよいのでしょうか？

気を付けるところは？

例) 古いブロックベ

どうやって身を守る？

→ 例) はなれる。

→

→

→

→

→

→

4

5

6

家族



家族会議

◆ 通学路で地震が
起きたとき ◆

「気を付けるところ」や
「身の守り方」について、
家族で話し合って、上の
表に記入しましょう。



家の人のサイン

手直しをしよう

◆ 心配なところを書き足しましょう ◆

<視点>

- ・ 津波がくるおそれがあるところ
- ・ 大雨のときに気を付けるところ
- ・ 台風のときに気を付けるところ
- ・ 土砂災害の心配があるところ など



行動目標を決めよう

道路で大きな地震にあったら、まず、

します！

4 外出中に、大地震が起こったら…

建物の中にはいるときは……非常口を探そう

非常口を示す表示を見かけたところを思い出して書き出しましょう。

例) 児童げんかん

〈非常口〉



出かけた先では、非常口の表示を探し、何かあったときにどこからにげるかを確認しておきましょう。

避難するとき

- ・店にいるときは、係の人の指示に従って避難しましょう。
- ・エレベーターの中にいたら、全ての階のボタンを押し、1番近くの階で降りて階段で避難しましょう。（避難する時に、エレベーターを使ってはいけません。）
- ・大きな地震がおさまったら、「津波が来るかもしれない。」と考えて避難をしましょう。
- ・ラジオなどから、しっかりとした情報を得ましょう。

外出中でも
おうちに
注意!

家族会議

◆ 出かけた先で
大地震が起きたら ◆

家族でよく出かける先で、大地震が起きた場合に気を付けることを家族で話し合いましょう。



家の人のサイン

低い土地にいるときは……津波から逃げよう

低い土地で大きな地震にあったら、
すぐに高いところへ逃げましょう。

「津波ハザードマップ」を開いて調べてみましょう。



学校の

だいたいの標高（海拔）は _____ m

自宅の

だいたいの基準水位は _____ m

家族でよく出かける

場所は？ ① _____ ② _____ ③ _____

基準水位は？ ① _____ m ② _____ m ③ _____ m

家族会議

◆ 家族でよく出かける
場所の津波の危険 ◆

次のページの「津波ハザードマップ」で、家族でよく出かける場所を見つけて、△をつけましょう。



家の人のサイン

標高（海拔）表示 海の高さを0mとして、そこからどのくらいの高さなのかを表したもの。

ハザードマップ

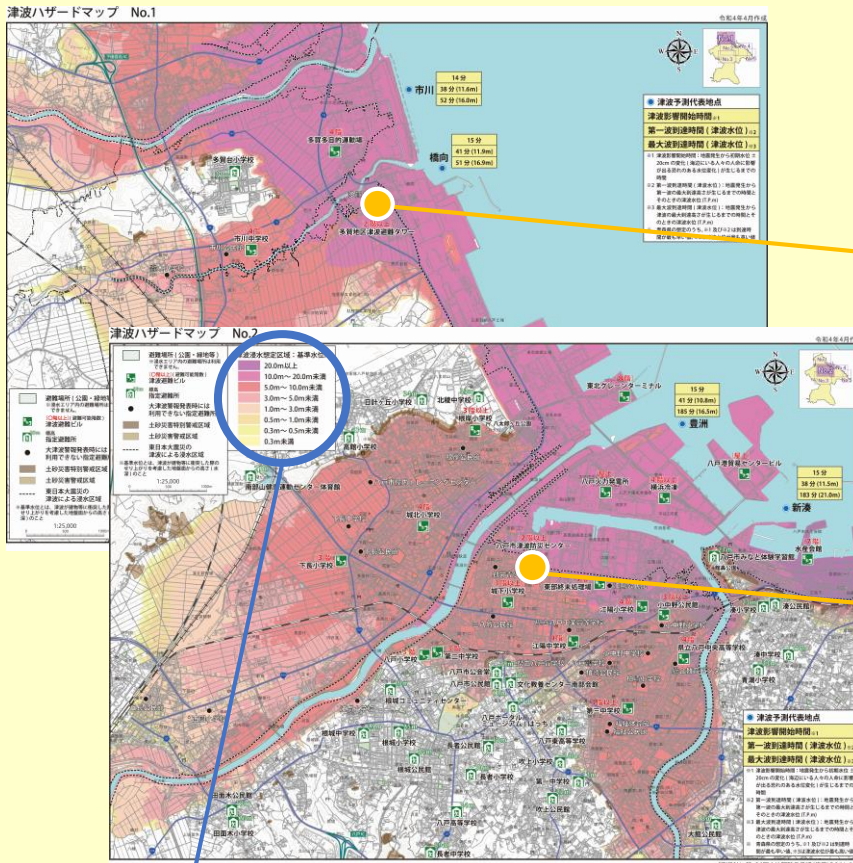
地震などの自然災害が発生した時に、危険と思われる箇所や避難場所などを地図にまとめたものをハザードマップと言います。ハザードマップは災害の種類ごとに作成され、現在、八戸市には、「津波」「洪水」「内水」「土砂災害」などのハザードマップがあります。

学校や自分の家がある地域の危険や、いざという時のために、避難所の位置を確認しておきましょう。

津波ハザードマップ（No.1、No.2）

※津波ハザードマップはNo. 5まであります。

【令和4年4月版】



多賀地区津波避難タワー



八戸市津波防災センター

大津波警報発表時の緊急的・一時的な避難施設。

4

5

6

家族

「基準水位」について

基準水位とは、津波浸水想定浸水深に、津波が建物などに衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。

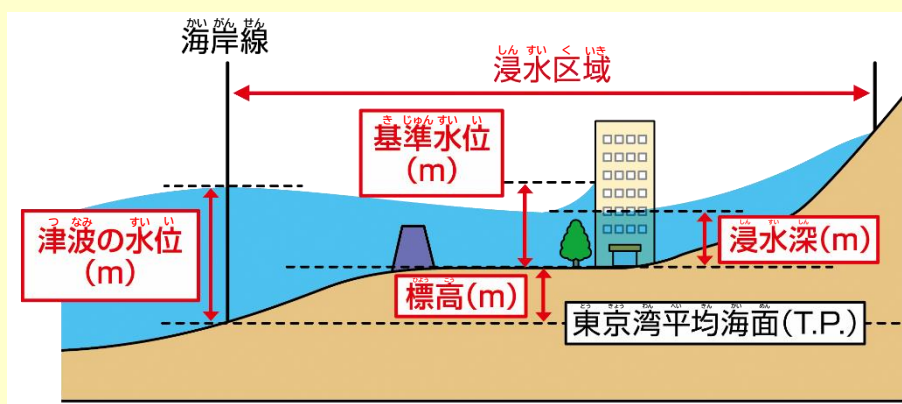
基準水位を表示することで、津波から避難するうえでの有効な高さを把握することができ、避難施設の効率的な整備や、より実効性の高い避難対策を講じることができます。

下の二次元コードを読み込んで、八戸市の津波

ハザードマップから、自分の住んでいる地域の基準水位や避難所の位置などを確認しましょう。



▲ 八戸市ハザードマップ（すべてのハザードマップを見ることができます。）



6 避難所に行かなければ ならなくなったら…

1 避難所はどんな場所か

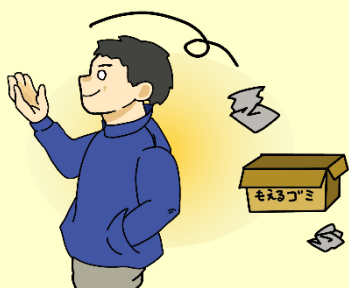
避難所の生活はふだんの生活と、どのようにちがうでしょうか。下の絵や写真を見て考えてみましょう。



東日本大震災2日後の市内小学校体育館の様子

2 避難所であなたが気を付けること

避難所ではどんなことに気を付ければよいでしょうか。下の絵を見て考えてみましょう。



避難所での感染症を予防するために気を付けることは？

7 他の災害からも身を守ろう

災害から命を守るためには、地震や津波だけではなく、様々な災害（台風、雷、大雨、大雪など）について知っておくことも大切です。あなたの通っている学校や住んでいる家、ふだんよく行くところではどんな災害に気を付けなければいけないのでしょうか？

台 風

7月から10月にかけては日本に接近・上陸する台風が多くなり、大雨、洪水、暴風、高潮などをもたらします。

4

5

6

家族



▲台風10号による被害 平成28年8月30日



▲デーリー東北新聞社提供 平成11年10月29日掲載

風が強いとき、どんな危険があるのだろうか？

予想される危険 例) 看板や割れたガラスが飛んでくる。

台風について知ろう

台風の強さは、最大風速によって「強い」「非常に強い」「猛烈な」と表されます。

強 い

最大風速が毎秒33m以上44m未満
※ 看板などが飛んできたり、木が折れたりすることもある。

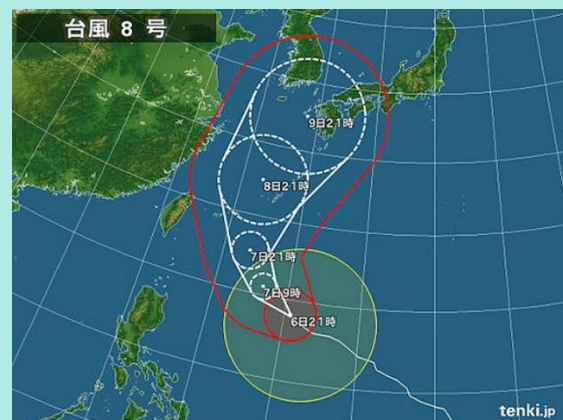
非常に強い

最大風速が毎秒44m以上54m未満
※ 車が横転したり、木造の建物がこわれたりすることもある。

猛 烈 な

最大風速が毎秒54m以上
※ 電柱が倒れたり、窓ガラスが風圧だけで割れたりする。

台風は、日本の南の海で発生し、北の方に進んでいきます。



観測史上最大級だった平成26年の台風8号
(日本気象協会tenki.jpより)

台風は地震などとは違い、ニュースの天気予報などで予測できます。台風の進路や大きさ、風の強さなどの情報をもとに、自分の身を守る努力をしましょう。

大雨・豪雨

近年、全国各地で大雨による被害が相次いでいます。ごく限られた場所に、短い時間で大量の雨がふる「集中豪雨」がたくさん発生しています。日ごろから水害に備え、いざというとき、適切に行動できるように心がけましょう。

大雨・豪雨のときに、気を付けることは？



まるごとまちごとハザードマップ標識



『まるごとまちごとハザードマップ標識』は、市内6施設に設置され、周辺の洪水想定浸水深（大雨による川の氾濫で浸水が想定される水面から地面までの最大の深さ）が表示されています。また、記載された二次元コードを読み込むことで、大雨による設置箇所周辺の浸水深や指定避難所などの情報を見ることができます。

▼ まるごとまちごとハザードマップ



家族会議

◆ 台風や大雨のとき ◆

台風や大雨のときに気を付けることを家族で確認しましょう。

「住んでいる場所の安全」や「避難場所まで行く道の安全」も確かめてみましょう。



家の人のサイン

4

5

6

家族

線状降水帯について知ろう

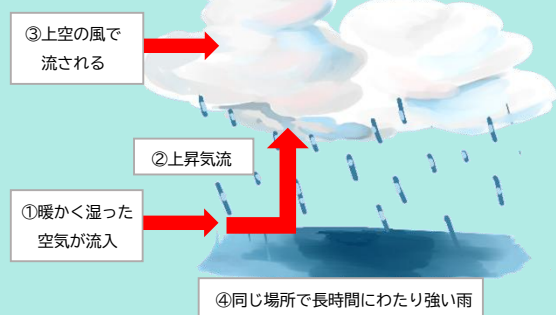
線状降水帯とは、発達した積乱雲が連続して発生する巨大な積乱雲の集まりです。線状降水帯が発生すると、台風と同じように川の氾濫や土砂災害などを引き起こす災害級の大雨になることがあります。

ここ数年、線状降水帯が原因とされる豪雨は毎年のように発生しています。気象庁は令和3年6月から、線状降水帯が発生した場合、「顕著な大雨に関する情報」を出して、厳重な警戒や安全の確保を呼びかけることとしています。

過去に被害をおよぼした主な線状降水帯

年	月 日	災害の名称	被害内容
平成26年	8月20日	平成26年8月豪雨	広島市の住宅街で大規模な土砂崩れが発生。死者84名。
平成27年	9月9日～11日	関東・東北豪雨	茨城県、栃木県、宮城県を中心に河川の氾濫が発生。死者20名。
平成29年	7月5日～6日	九州北部豪雨	福岡県・大分県で河川の氾濫、土砂崩れが発生。死者40名。
平成30年	6月28日～7月8日	平成30年7月豪雨（西日本豪雨）	岡山県、広島県、愛知県など西日本各地で河川の氾濫が発生。死者263名。
令和2年	7月3日～31日	令和2年7月豪雨	九州地方、岐阜県、山形県など全国各地で豪雨となり、各地で河川の氾濫、土砂崩れが発生。死者84名。

線状降水帯発生仕組み



線状降水帯は1つの雲が無くなっても、また次の雲が発生するため、数時間にわたり同じ場所で激しい雨をもたらします。

※「線状降水帯」の言葉が使われだしたのは平成26年8月豪雨の頃からです。

どしゃさいがい 土砂災害

どしゃさいがい 土砂災害の前兆



どしゃさいがい
土砂災害では、どんな危険があるのだろう？

どしゃさいがい ぜん ちよう
土砂災害の前兆に気付いたら、周囲の人にも知らせ、いち早く安全な場所に避難することが大事です。

予想される危険 例) がけが突然くずれる。

.....
.....

八戸市のホームページの土砂災害ハザードマップを活用して、学区やよく行く場所で、土砂災害が起きそうな場所があるか調べてみましょう。



▲平成21年7月中国・九州北部豪雨で発生した土砂災害

家族会議

どしゃさいがい 土砂災害の危険

家の近くやよく出かける場所で、土砂災害のおそれがある場所はないか、家族で話し合ってみましょう。



家の人のサイン



▲ 八戸市土砂災害ハザードマップ

雷

雷は、周囲よりも高いものに落ちやすいという特徴があります。また、グラウンド、平地、山頂などの周囲の開けた場所にいると、人に落雷することがあります。落雷を受けた樹木等のそばに人がいると、その樹木等から人へ雷が飛び移ることがあります。

○ 雷が鳴ったら、どうすればいいのでしょうか。



▲デリー東北新聞社提供
平成23年7月14日掲載

大雪

大雪のときには、屋根に積もった雪が落ちてきたり、雪の重さで、建物がつぶれたりします。また、こおった道路では交通事故が起きやすくなります。さらに除雪中の事故も心配されます。

○ 大雪の時には、どんなことに気を付けますか。



▲デリー東北新聞社提供
平成24年3月13日掲載



家族会議

◆ 雷や大雪のとき ◆

雷や大雪のときに気を付けることを家族で確認しましょう。

家の人のサイン

ぼうし
帽子をかぶる、
てぶくろ
手袋をすることも身を
守る工夫です。寒いからと
いって、両手をポケット
に入れたまま歩くのは
とても危険です。



八戸地方に被害をおよぼした主な風水害（平成元年以降のもの）

年	月 日	災害種別	床上床下浸水	年	月 日	災害種別	床上床下浸水
平成2年	9月17日～20日	大雨・台風	79戸	平成13年	9月11日～12日	台風15号	125戸
平成2年	10月26日～27日	豪雨・強風・波浪	73戸	平成23年	9月21日～22日	台風15号	31戸
平成2年	11月4日～5日	大雨・強風・波浪	250戸	平成28年	8月30日	台風10号	9戸
平成3年	9月28日	大雨・台風	半壊 5戸	平成29年	10月23日	台風21号	4戸
平成5年	7月28日～29日	大雨	82戸	令和元年	10月12日～13日	台風19号	10戸
平成11年	10月27日～28日	大雨・洪水・暴風	491戸	※ 参考：「東日本大震災八戸市の記録」（発行：八戸市）			

8 地震や気象の情報を 知っておこう

気象庁から出される情報「注意報・警報・特別警報」

気象庁では、気象・地震・津波・火山などの現象や災害の内容によって下記のように注意報、警報、特別警報を発表しています。



非常に危険

注意報

大雨、浸水、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪、津波

警報

大雨、浸水、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮、津波、噴火

特別警報

大雨、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮、大津波、噴火

- ※ 注意報が出た場合、最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備をしましょう。
- ※ 警報が出た場合、影響を受けやすい地区や避難行動要支援者は早めに行動しましょう。
また、避難に関する情報に注意し、必要に応じ速やかに避難しましょう。
- ※ 特別警報が出た場合、数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。

「特別警報」が発表されたら、ただちに命を守る行動をとろう！

市町村から出される避難情報「警戒レベル」

平成30年7月豪雨を教訓とし、避難行動が容易にとれるよう防災情報を5段階に分類する警戒レベルの運用が、令和元年6月から開始されました。



八戸地方に被害をおよぼした主な地震・津波

※ 参考：「東日本大震災八戸市の記録」（発行：八戸市）

名称	いつ	震度	マグニチュード	津波の高さ	人的被害
昭和三陸地震津波	昭和8年(1933)3月3日	4	8.1	—	負傷者 1名
チリ地震津波	昭和35年(1960)5月24日	—	9.5	3.18m	死亡 1名 行方不明 2名 重傷者 2名
十勝沖地震	昭和43年(1968)5月16日	5	7.9	1.59m	死者 19名 負傷者・軽傷者 305名
三陸はるか沖地震	平成6年(1994)12月28日	6	7.6	0.44m	死亡 2名 重軽傷者 720名
岩手県沿岸北部地震	平成20年(2008)7月24日	6弱	6.8	—	重傷 2名 軽傷 71名
東日本大震災	平成23年(2011)3月11日	5強 (内丸)	9.0	6.2m	死亡 1名 行方不明 1名 重軽傷者 70名 最大避難者数 9,257名

9 東日本大震災について知ろう

平成23年(2011年)3月11日(金)、14時46分頃、震源は三陸沖深さ24km、規模マグニチュード9.0、市内の最大震度5強の地震が発生しました。

この地震により八戸市では、高さ6.2mの津波が発生し、海岸の漁港や工場、船、諸施設が流されたり浸水したりの被害にあいました。

人的被害… 死者1名、行方不明者1名、重傷18名、軽傷52名
 建物の被害… 全壊254棟、大規模半壊181棟
 避難所… 69か所が設けられ9,257名が避難
 被害金額… 約1,200億円以上



▲猛烈な勢いで蕪島に押し寄せる津波

あの地震から学んだこと

多賀小学校 小山田 悠人

グラグラ、グラングラン。ガッシャーン、ドン。いっしゅん何が起きたのか分からなかった。体がゆれて、まっすぐに立つことができない。これは、地震だ。今までに経験したことのない大きさの「東日本大震災」だった。あまりのゆれの強さに、僕は具合が悪くなった。でも、急いでつくえの下にもぐり、頭をかくした。ぼくは、これからどうなってしまうのだろうかと、不安な気持ちでいっぱいになった。「家族は、大じょうぶなのか。」と、ぼくはとても気になった。

・・・・・・・・・・・・・・・・

家に帰ると、ザー——、ゴー——、こんな不気味な音が聞こえてきた。そうだ、つ波がやってきたのだ。家にある大切な物をまとめ、家族みんなで急いで車に乗りこんだ。そして、ひなんしようとしていた。しかし、つ波の勢いはすごく、あっという間に車のタイヤが水にかくれてしまうほどだった。ぼくは、こわくなった。「だめだ。もうおしまいだ。」と思い、体の力がぬけていった。すると、「悠人、がんばるぞ。」

力強い声が聞こえてきた。お母さんだ。お母さんの一生けん命なすがたを見たら、ぼくは心強くなった。そして、「絶対、あきらめるものか。」と思った。

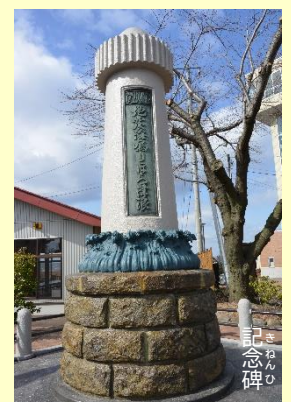
(文集「はちのへ」 小学校編58号より 一部抜粋)



▲多賀小学校の校庭に押し寄せる津波

「地震 海鳴り ほら津波」

昭和8年(1933年)に発生した「昭和三陸地震」でも、津波による大きな被害がありました。八戸市みなと体験学習館(愛称:みなっ知)のある館鼻公園には「地震がおきたら津波が来るぞ!」という意味の教えと津波の被害を記した記念碑が建っています。



4年

5年

6年

避難訓練のふり返し

〈4年〉

実施した日	反省・感想	点検
月 日 ()		
月 日 ()		
月 日 ()		

〈5年〉

実施した日	反省・感想	点検
月 日 ()		
月 日 ()		
月 日 ()		

〈6年〉

実施した日	反省・感想	点検
月 日 ()		
月 日 ()		
月 日 ()		

4年 組 番	氏 名
5年 組 番	
6年 組 番	



八戸市ホームページ **防災情報** (地震や津波、防災の情報が載っています)

<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/kurashi/tetsuzuki/kurashinoanzen.anshin/bosaijoho/index.html>

【問合せ先・発行元】

八戸市教育委員会教育指導課
青森県八戸市内丸1-1-1
TEL 0178-43-9461
FAX 0178-47-4997

【作成アドバイザー】

八戸工業大学教授 金子 賢治
〃 講師 宇野 あずさ
青森県防災士会 館合 裕之

【イラスト】

八戸工業大学 感性デザイン学部
佐藤 亜衣子
胡 景瑛
※ 令和4年4月現在